

シミンのジリツを支援するNPO法人

シミンズシーズ

年次報告書 2020



何事も一歩
いっぽ！

2020 年度 報告とお礼

かわのまちほいくえんが開園します。この年次報告書をみなさまがご覧になる頃には本格的に稼働していることになります。構想を練り始めてから2年余り、国による制度設計の組み直しに多くの時間が割かれ、約1年近くウエイティング期間がありましたが、ようやくこの日を迎えることができました。20年近く培ってきた私たちのノウハウや想いを紡ぎ、熟成させ、この1年という時間を経て、より充実した私たちらしい保育という事業にたどり着くことができました。ある意味この時間が私たちにとっては、良かったと前向きに捉えたいと思います。

大きな柱となる事業を始めるにあたって、労働環境を中心に法人の運営体制を大幅に見直しました。就業規則や各種規定類、評価の仕組みや給与基準、意思決定権限や会議のあり方などなどです。法人の事業規模がおおよそ倍になります。また、初めて金融機関からの借入れをしました。さらには、2年前に関連会社として設立した（株）加古川まちづくり舎も本格的に事業を開始します。これらの状況を踏まえてできる限りの準備をしました。

さらに、この10余年の間、私たちの主要事業である東播磨生活創造センター「かこむ」の指定管理事業も、今年度更新の企画コンペティションの時期を迎えました。過去4回と同様にその時々 の時流と「かこむ」の状況を踏まえ、私たちに考え得る最適解となるよう企画を提案し続けてきました。今回も、これから「かこむ」を支えるメンバーを中心に検討、議論を重ね、再度指定管理者に指定されることができました。指定管理期間が3年から5年になりましたので、より安定的かつ中身の濃い運営が求められます。過去の実績を踏まえつつも、それに慢心することなく、常に新たな価値を提供できるノウハウ開発と人材育成に努めます。

今年度の具体的な各事業の実施状況については報告書の細部に委ねることとしますが、「かこむ」の運営事業においては、コロナ禍によって初めて休館（約1ヶ月間）を余儀なくされ、多くの事業を中止せざるを得なくなりました。しかしながら、その中でもオンラインでの実施を試みた事業もあり、新たな手法での開催に手応えを得ることもできました。

特に、活動に制限が加わることにより各団体がどのような影響を受けているかについてのヒアリングを実施し、状況を把握した上で、できる限りきめ細やかな対応をすることができたことやそれを施策として企画に盛り込んで行っていることは、活動をサポートする法人としての肝の部分であり、よりその機能を充実させることができたと思っています。

また、毎年行う経営戦略を練る合宿（通称「たのCAM」）において、今年度は過去に私たちが行ってきた事業を、クライアント、依頼内容、事業内容、結果、私たちが習得したノウハウ、別事業への展開や関係性などを軸に分析しました。そして改めて私たちの強みを確認するとともに、今後の事業の領域、分野、エリア、手法、特徴、備えるべきスキル、そして専門性などを明確にし、共有しました。私たちらしく、かつ主軸となる事業を考えるベースを固めることができたと思います。

このように、2020年度は次のステージに上るための準備の1年であったと言えます。思いも寄らないコロナ禍に翻弄されながらも、自分たちの本分を見定め、じっくりと足腰を鍛える努力をしました。2021年度も全力で駆け抜けます。変わらぬご厚情とご支援を賜りますようお願いし、報告とお礼といたします。

代表理事
田中 茂



2020 年度活動報告



もくじ

P.01 挨拶

P.03 シーズについて

P.05 ハイライト

P.06 事業報告…個人のジリツ

P.07 事業報告…市民のジリツ

P.10 事業報告…地域のジリツ

P.11 事業報告…団体のジリツ

P.14 事業報告…全てのジリツ

P.15 法人運営

P.16 講師派遣一覧

P.17 決算報告

P.18 2021年度事業計画

私たちは、 誰もが感じる「たのしい」という気持ちを 大切にしています

シミズシーズのビジョンにある「『市民』という役割」とは、一人ひとりの「社会への関わり方」と言い換えることができます。

さまざまな課題が溢れる社会において、市民の社会への関わり方＝「責任」が問われています。しかし、この状況を「責任」と捉え、動き出す人はそう多くいるとは言えません。

私たちは別のアプローチで社会への関わり方をつくりだしていけるのではと考えています。それが、一人ひとりが抱く「たのしい」と感じる気持ちです。

人が「たのしい」と感じることはまさに主体的なものであり、その瞬間や場面、感じる対象などはさまざまです。ゆえに、そのエネルギーが社会に顕在化するには時間がかかり、強大な影響力は保証できるものでもありません。

しかし、そのエネルギーは、責任を押し付けることだけでは発揮しえない持続力や求心力を備えています。社会への関わり方としてこのような力が求められているのではないかと思うのです。

シミズシーズは、地域や社会を「自分でつくる」ことで得られる「たのしい」を見出すために、さまざまなフィールドにおいて、一人ひとりの思いを尊重し活動しています。

社会の一員として参画することって「たのしい」。
自らの手で地域をつくることって「たのしい」。

これらの「たのしい」から人はあらゆる場面で「自分ごと」となり、ジリツした市民として主体的に社会に関わっていくと考えています。

社会には、たくさんの「たのしい」が眠っています。
「誰もが『市民』という役割を楽しめる社会」に向け、シミズシーズは「たのしい」をプロデュースし続けます。

Vision

誰もが「市民」という役割をたのしめる社会へ

Mission

シミンの自律と自立を支援する

Service

" たのしい " のプロデュース

人のいるあらゆる場所、場面で、「自分でつくる」ことへの働きかけを企画するのが私たちの仕事です

- 市民参加の企画・プロデュース
 - チームブランディングプログラムの提供
 - コミュニティプランニング
 - ファシリテーション
 - コミュニケーションデザイン
- など

Field

シミンズシーズはシミンの自立と自律を支援する5つの事業を展開しています。シミンのいるあらゆるフィールドが、私たちの活動領域です。

2 市民のジリツを支援する プロデュース / ネットワーキング事業

Field 2 citizenship

市民一人ひとりの力を活かして「参加できる場」をつくる企画事業を展開しています。「県立東播磨生活創造センター『かこむ』」は開設から運営に携わり、丸 13 年が経過しました。

4 団体のジリツを支援する NPO 等支援事業

Field 4 organization

自律的にスタッフが運営に携わり、チームとして1つになれるよう、チームづくり、理念づくり等の研修プログラムを提供しているほか、NPO 等の設立相談やネットワーク化など、NPO や行政、社会的活動のサポートを行っています。

1 個人のジリツを支援する 人材育成事業

Field 1 person

学校での参加型プログラム、インターンシップの受け入れを通じて、これからの地域や社会に関わる上で必要な、自ら考え行動する力をつけるための「学びの機会」を提供しています。

3 地域のジリツを支援する コミュニティ創造事業

Field 3 local community

さまざまな主体が、地域の問題解決に向けて「自分ごと」として取り組める「場や機会」を提供することで、地域住民中心の地域づくり、コミュニティづくりを行なっています。

5 すべてのジリツを支援する 環境整備事業

Field 5 environment

多様な人を巻き込みながら社会やまちのことを「自分ごと」に感じ、思う人をジリツした市民ととらえ、そのための環境や仕組みを整えていくための取り組みや、各種講師・ファシリテーター・委員等の派遣を行っています。

2020 年度 シミズシーズ ハイライト

2020 年度にシーズで起きた出来事を
5つのトピックスにまとめました♪

1 まちの人と毎日をつくる 「かわのまちほいくえん」 開園に向けて本格始動！

内示決定がずれ込んだため、開園予定を 2021 年 2 月から 6 月に切り替え、保育スタッフや園児の募集、園舎の建設など同時並行で進めています。「まちの人とのつながりの中で、楽しいを起点に生きる土台をつくる」を運営方針に掲げ、多くのまちの人たちを巻き込みながら開園に向けて動き出しています。



2 活動を止めない！ イベントや交流は オンライン開催が増加

休館や利用制限が敷かれ、オンラインの比重が高まり、どこまで対面に近い場にできるか試行錯誤を繰り返しました。「かこむ創造フェスタ」では YouTube を活用したライブ配信で登録団体の活動発表を行うことで、普段とは違う層にアプローチできるなど新たな発見がありました。



3 若者にもっと東播磨を 好きになってもらいたい！ 若者事業始まりました！

東播磨で暮らす・学ぶ若者がもっと東播磨のことを知ること、住み続けたい場所になってほしい。地域活動をやってみたい高校生・大学生を中心に自分のアイデアを参加者同士でシェアしながら、企画としてカタチにするゼミを行いました。



5 事務局サポートを通じて これからの 組織づくりを提案

いなみ野ため池ミュージアム運営協議会の「2030 年に向けたビジョン」を策定するワークショップのサポートとため池の未来について若者と考えるフォーラムの運営支援を実施。これからの組織づくりとして、既存の関係者だけでなく地域にあわせた仕組みや最適化を図ること支援を行いました。



4 知る、想像する、対話する。 地域の未来を描き 市町を超えたつながりを

北播磨に関わる若い世代の皆さんと一緒に、30 年後の地域の未来を描くことを通して、自分ごととして地域を考えるきっかけとなるよう開催しました。地域への想いを共有することで、市町を超えたつながりの機会ともなりました。





NPO 法人ドットジェイピーからのインターン生が活躍したまちマチゼミの様子

学校への参加型プログラムの提供事業

学生の主体性を引き出す授業設計

DATA

兵庫県立農業高等学校定時制課程

4年 シミンのジリツ講座 6回

兵庫県立農業大学校

1年 キャリアデザイン 4回

兵庫大学

コミュニケーション論 15回

／インターン受け入れ実績／

NPO 法人ドットジェイピー(大学生)
明石高等専門学校
兵庫県立加古川南高等学校
株式会社 KEG キャリア・アカデミー(大学生)
東播磨県民局
あかし若者サポートステーション
NPO 法人シミズシーズ(社会人)
など

インターンシップの
受け入れ人数は
今年度19名!

大学での「コミュニケーション論」はすべてオンライン授業となり、自宅から参加する「自宅が映る、ミッド環境が必要、何時間もパソコンの前に座り続けなければならない」といった学生への負担の大きさが明らかとなりました。オンライン上でできるアクティビティや双方向でのやりとりを意図的に取り込みながら、可能な限り学生主体の授業となることを意識しました。対面での授業を行った学校

新型コロナウイルスの流行により、学校での授業の多くはオンラインに切り替わりました。新たな学習の方法を常に工夫しながら「自らのキャリア形成」や「コミュニケーション力」といったテーマでの授業を3校で実施しました。

それぞれの授業で、学生・生徒一人ひとりが自分の課題と向き合い、考える姿が見られました。学びを生徒自身の日常につなげていくことを大事にしていた授業の形は、オンラインでもできる方法があると実感しました。学生・生徒にとっては、その学年は1年しかありません。今しかない授業を、形が変わっても質を落とさず継続できる方法や工夫を今後も続けていきたいと思っています。

では、これまでのような大人数でのグループワークができなくなり、ソーシャルディスタンスを保ちながらできるアクティビティや、話し合える環境づくりなど、従来通りの目的が達成できる授業を工夫しながら実施しました。

担当のつぶやき



メインスタッフ…きえさん

オンライン授業やソーシャルディスタンスを踏まえたグループワークなど、例年とは違う工夫が授業の幅を広げる貴重な機会になりました。



メインスタッフ…くっさん

インターン生と職業訓練の目的や意味を共に考え、個人のジリツについて学びました。



東播磨生活創造センター「かこむ」指定管理運営事業

オンライン生配信に初挑戦！支援の形を探る１年に

指定管理運営第４期目（２０１８年度～２０２０年度）の最終年度となる２０２０年度は、新型コロナウイルス感染症の影響と緊急事態宣言に伴い、約２ヶ月休館となりました。休館中は貸室事業をはじめ、団体登録制度「Kaco-LAB.」会員の活動や、ボランティア「運営パートナー」の活動がすべて停止するなど、今までにない状況下で運営に取り組んだ１年でした。

主催講座「東ハリマくらし学校」では、対面での講座（授業）の開催が困難になり、休館中はビデオ会議の体験会を実施。これまでオンラインに触れる機会の少なかった層への支援に力を注ぎました。体験会を重ねるうちに、オンラインに詳しい登録団体が知識の共有やサポートを申し出てくださり、体験会の内容も充実したものとなりました。開館後の東ハリマくらし学校の授業は、コロナ禍でも様々な内容の授業が実施できるよう、オンラインでの授業や、野外での授業にも対応した内容で講師（まちの先生）の募集を再開しました。

第１１回目の登録団体の発表の場となる「かこむ創造フェスタ」は、３密を避けるため You

tubeを活用しオンライン配信を実施しました。コロナ禍という外的要因がきっかけではありましたが、違った形、違った手法で、より多様な人々が集いつながる施設として、新たな生活創造活動の裾野を広げていくことができた１年でした。

総再生回数
1,100回！

DATA

開館日数	304日
年間来館者数	159,120名
有料施設稼働率	51.5%
登録ボランティア総数	39名
kaco-LAB. 登録	328団体



オンライン生配信のリハーサルの様子

担当のつぶやき

…みわちゃん

りながらも創意工夫し今できるしていきましょう！かこむは皆支援しています。



メインスタッフ…ちゃこちゃん

かこむへ来て今年の６月で１０年目。たくさんの方々との繋がりのおかげで自身の成長と出会いの大切さを改めて感じた一年でした。



メインスタッフ…きんぐ

コロナで色々変わった年、かこむでも新たな取り組みで、人をつなぎ、皆さまの活動を応援します。

…かなっP

ワーを皆さんからいただいてい皆さんにお会いしたいです！



メインスタッフ…えりちゃん

コロナ禍でも出来る事・忘れてはいけない事に気づく１年でした。



メインスタッフ…めぐちゃん

人と人が会いにくい日々が続いていますが、「かこむ」ではいつでも笑顔の活動を応援しています。

東ハリマくらし学校「まちの先生」 オンライン化、施設外も可能な制度へ

誰もが気軽に先生となれる「まちの先生」は、より気軽に授業を実施できるよう「通年で応募可能」「開催回数に制限なし」と制度を変更しました。それによって何度でもチャレンジでき、開催した授業の良かった点や失敗を踏まえて次に活かすことができるようになり、先生の成長へとつながりました。感染症対策を考慮し、オンライン授業や、フィールドワークが必要な場合は外部での開催も可能にすることで、内容の幅が一層広がりました。

参加者からは「誰しもが自分の得意なことを活かして、地域に貢献することができる機会を与えてくれるところ」といった声をいただき、改めて事業の価値を再認識しました。

東ハリマくらし学校の授業（一部）

はじめは繋げてみるだけ！ Zoom の使い方体験会
聖書講座ボランティア好きの牧師が考える聖書の読み方
いきいきセカンドライフ勉強会（体験版）
あなたのご先祖様は誰ですか？
カラダをほぐしてほどよく鍛えるヨガ
初めてのバードウォッチング
ミラハタ「未来に伝えたい働き方」

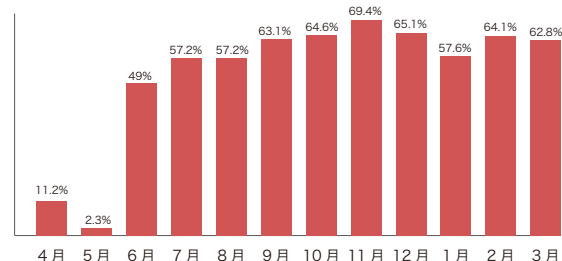


屋外でバードウォッチングする様子

コロナ禍の「かこむ」の運営

緊急事態宣言下で休館期間（4月9日～5月24日）があり、有料施設稼働率は一時2.3%まで落ち込みましたが、年間の稼働率は50%を超えるまでに回復しました。利用者を巻き込んだ感染症対策の徹底が安心に繋がったのではと考えます。また、休館となった5月の緊急事態宣言下では、登録団体の近況や困りごとを把握するため電話でのヒアリングを実施しました。コロナ禍でイベントや交流の機会が減少する中、活動の継続や発展のヒントとなる情報提供、コーディネートによって相談者の困りごとの解決につなげることができました。

施設の稼働率の推移（2020年度）



かこむ創造フェスタ、初オンライン生配信！

kaco-LAB. 会員の活動発表の機会である「かこむ創造フェスタ」は初のオンライン生配信で実施しました。開催当日「かこむ」は撮影会場となり、出演者はカメラの前で活動発表を行いました。撮影動画は Youtube を利用してインターネットで生配信。当日は最大 61 名が同時視聴、638 回の視聴がありました。出演者からは「久しぶりに活動の発表ができ、とても楽しかった」「新しい体験ができてよかった」といった声をいただき、視聴者からは「他のことをしながら見ることができた」「水難事故が起きた場合の、対応実演のときに子供が真似していた。いざというときに役に立つ情報も知ることができてよかった」などの感想をいただきました。

担当のつぶやき



メインスタッフ…ゆかちゃん

なかなか人との関わりが難しい中ですが、「かこむ」は笑顔で皆様の活動を応援していきます！



メインスタッフ…杏ちゃん

皆さんのパワーアップを応援しながら、「かこむ」もパワーアップしていきます！



メインスタッフ

コロナ禍であつたから挑戦様の活動を



メインスタッフ…せりちゃん

かこむが東播磨の地域と人をつなぐ架け橋の拠点になれるように、日々努力していきます！



メインスタッフ…りえちゃん

「かこむ」で出会う皆さんが、笑顔で前向きに活動出来る様に、私も笑顔で応援していきます！



メインスタッフ

たくさんのバチ。笑顔の



東播磨「人・まち」わくわく学び塾事業

学生主体の地域課題の企画立案・実践を

DATA

オンラインゼミ	開催回数 4 回 延べ参加者数 68 名
交流型ワークショップ	参加者数 7 名
メール・電話での相談対応 地域の専門家の紹介	延べ 51 回 42 名
情報提供	37 回
コーディネート	23 回

「東播磨『人・まち』わくわく学び塾事業」は、進学や就職により地域を離れる可能性のある若者を対象に、東播磨地域への愛着を深め、地域づくり活動への関心を高めることを目的とした事業です。地域の課題解決に向けた企画立案・実践や、地域づくり活動に携わる大人の事例紹介などの学びの場を提供しています。地域活動への関心を高めるために6・7月で実施した「まちマチゼミ」では、地域課題の企画立案・実践を行うための学びの場をオンラインで提供しました。

さらに3月には将来を切り口

に情報提供を兼ねた交流会として「地元から探す自分の未来」を実施しました。また、通年で情報提供・コーディネートを行うことで、参加者の東播磨地域への関心と地域活動の発展を目指しました。



担当のつぶやき



メインスタッフ…くっちゃん

東播磨地域を知り、地域の仲間と学び、地域の大人と繋がりました。若者と共に地域の魅力を再発見する機会になりました。



メインスタッフ…つくしちゃん

身近なところから地域の課題に真剣に取り組む学生のみなさんの姿に刺激をもらいました！



北播磨地域ビジョン策定事業

DATA

北播磨らしさを探る①	23 名
北播磨らしさを探る②	13 名
目指したい北播磨の未来	24 名
将来像の言語化①	18 名
将来像の言語化②	22 名

北播磨の 30 年後の未来を描く

北播磨地域に関わる若い世代の人と共に、30年後に向けた「地域デザイン案」とそれを象徴する「キャッチコピー案」をまとめました。北播磨地域の将来を自分ごととして考え、愛着を持つ若い世代を増やすことを狙いとしています。

まず、地域を知ることから始め、どういった問題や課題があるのか／予測されている社会の大きな変化の潮流は何か／自分たちがどういった地域をつくらなければならないのか、など、各回ごとにテーマを設け対話を重ねました。

コロナ禍における感染対策として、オンラインとリアルとのハイブリッドにも挑戦しました。オンラインを活用したワークシ



ヨップは、すでに社会全体で知識や経験が蓄積され始めていますが、ハイブリッドな場づくりはノウハウが出回っていないのが実情です。グループワーク中、参加者の様子を見ながら改善を重ね「全員が一度に話すと聞き取りにくいです。できる限りマイクに向かって一人ずつ話してあげてください」などの声かけは効果が高く、参加者の行動が変わりオンライン側の参加者が自然とグループワークに参加することができていました。これは身体の障がいを持つ人が場に参加する時の配慮と同じです。コロナ禍においてインクルーシブな世界から学べるのが多分にあるのかもしれないと胸が高鳴った瞬間でした。

担当のつぶやき



メインスタッフ…きがみん

地元の未来について思いを交わし合う機会づくりを通じて、新しい出会いが生まれることが、地域の未来につながっていくんだなと実感しました。



メインスタッフ…おざりん

普段関わることのない北播磨を知れたこと、未来を描く場づくりのプロセス設計に関われ、貴重な経験をさせていただきました！

地元の市民活動を広く発信

2020年度、コロナ禍により外出制限されるなか、イベントなどによる賑わいづくりは中止を余儀なくされています。反面、地域の身近な生活圏内「地元」の暮らしへの関心や、「地元」を楽しもうとする動きは、活発になっていっていると感じます。5年目を迎える加古川の地域活性化事業は、加古川駅前寺家町商店街で、保育園開園の準備（詳細はすべてのジリツP14に記載）に取り組みました。こどもを中心に、まちのなかで人の関係性を広げていく「まち保育」の実践を進めています。

東播磨の取り組みとして、地元企業BAN・BANネットワークス株式会社が運営する「加古川経済新聞」「高砂経済新聞」の配信に取り組みました。情報発信を通じて、地元で草の根的に活動する市民団体を広く発信できたと考えます。また、コミュニティスペース「びいぶらす加古川」「びいぶらす高砂」の運営支援は、商店街のなかに市民が集う拠点として、運営ノウハウを提供しました。



担当のつぶやき



メインスタッフ…つくしちゃん

過去の取材先から情報を提供していただくことが増え、「かこむ」以外でのつながりが広がってきています！



メインスタッフ…よっしー

地元の美味しいものや楽しそうなことを見つけては、経済新聞担当者へ「取材してきて！」とせがんでいます。

NPO / CB 支援事業

コミュニケーションを促進する仕掛けづくり

DATA

NPO 法人

フェミニストカウンセリング神戸
研修全3回ほか

NPO 法人

性暴力被害者センター・ひょうご
広報戦略の整理、アドバイス

すっきゃ加古川／加古川観光協会
加古川検定講座 チラシポスター

今年度は主に、ひょうごコミュニティ財団が実施する有園博士基金の助成団体に対して、団体内のコミュニケーションを活性化させるための研修を実施しました。オンラインでの研修は一方通行になりがちで疲れやすいという特性があることから、通常であれば2〜3時間で開催する研修を1時間30分に短縮し、オンラインでのグループ対話機能であるブレイクアウトルームやチャットを活用したり、紙やペンといった従来からのグループワーク手法も適宜取り入れたりしながら、継続的に活動の支援を行うことができました。離れた場所で活動するスタッフ、顔を合わせることが難しいコロナ禍においても、コミュニケーションの場をつく

れたことで、参加者からは普段話せないようなことが話せた、メンバーの知らなかった一面を知ることができたといった感想がありました。また、オンラインでの研修と並行して、団体が主催するオンラインイベントの運営や、広報や情報発信に関する相談にも団体に伴走しながら対応しました。今年度、オンラインでの研修や活動支援にチャレンジし、継続できたことは一定の成果があったといえますが、まだ手法としては発展途上であると考えています。今後さらに効果的な方法を模索していきながら、それぞれの団体の課題に合わせた、カスタマイズドな団体への活動支援を続けていきたいと考えています。

担当のつぶやき



メインスタッフ…きえさん

さまざまな視点、分野で活動するNPO団体の活動の背景にある想いを聞かせていただけるこの事業。私自身にとっても貴重な経験、財産になっています。



メインスタッフ…おざりん

熱い思いをもって取り組まれる皆さんに刺激をいただきました！今まで知らなかった自分の住む地域の新たな面も知れ、地域の捉え方が変わっていくのを感じます。



DATA

その他会計業務等
通年

オンラインで交流範囲が県内全域に拡大

れば会場にアクセスしやすい団体以外は参加しづらいという地理的な制約を受けましたが、今回のオンライン交流会では県内全域から参加でき、これまで以上に多様な活動の情報交換と交流の場をつくることができました。

今年度は、運営委員会も事業もオンラインが中心になるなど、運営できる形を模索しながらの1年でしたが、県内各所にいる団体との情報交換や交流にはオンラインでのメリットが多くあることを実感しました。今後コロナ禍によって普及したニュースタンダードと従来からの良い部分とをうまく組み合わせていきながら、事務局として状況とニーズを把握し、会員支援の活動に注力していきます。



担当のつぶやき



コロナ禍の影響の大きい市民活動において、情報共有や意見交換の大切さを再認識した一年でした。



コロナ禍の困難な状況で、ネットワークの在り方を改めて考える一年となりました。



いなみ野ため池ミュージアム事務局支援事業

設立 20 年目を迎える協議会の伴走支援

DATA

フォーラム支援・動画作成支援	2 部構成 (延べ 94 名)
20 周年ビジョン作成支援	計 6 回開催
ため池マップデザイン支援	-
ボランティア制度の情報提供	事例提供 1 回

2020 年度に、同協議会が 20 周年を迎えるなか、今後の方向性を考える「2030 年に向けたミュージアムのビジョン」を策定するワークショップのサポートを担いました。当日のプログラムや進행을支援するなか、東播磨の地域資源である「ため池」をいかに身近に感じてもらうことができるか、関係者の方々と模索し続けた 1 年となりました。ため池協議会の発足から 20 年が経過し、徐々に関係者も高齢化するなか今後の人材不足、担い手不足が目先の課題になってきていることが浮きぼりとなりました。いかに既存の

関係者だけでなく、地域に合わせた新たな「組織」の仕組みや最適化を図れるかが問われています。そのための情報提供など継続的な支援を今後も行っていきたいと考えます。

また、前年度、新型コロナウイルスの影響により、開催中止を余儀なくされた推進フォーラムは、感染拡大防止策を徹底しつつ、多数の県民が参加できるようサテライト会場の設置や動画作成に取り組みました。



担当のつぶやき



メインスタッフ…ぐっさん

組織それぞれの課題や運営の難しさを実感。これからの組織づくりと組織の在り方について一緒に考えました。



メインスタッフ…つとむん

東播磨には 600 を超える「ため池」があり、市民と行政、企業によるため池の活用には注目です。



「かこむ」登録団体「親子サークル UME」の皆さんと、Mannna photo office さんにご協力いただいた広報写真

加古川かわのまち保育園運営事業

まちの人と毎日を作る保育園



かわのまち
ほいくえん
kawanomachihoiikuen

「まちの人と毎日をつくる」を体現する園のロゴは、商店街のみなさん 30 名ほどの方に保育園の名前を書いていただいた文字を 1 文字ずつ組み合わせてロゴタイプに。



施行中の園舎の様子

内閣府による企業主導型保育園の新規募集がようやく開始され、無事に内示決定通知を受理することができました。年度当初は 2021 年 2 月の開園を目指していましたが、決定の通知時期がずれこみ、着工が遅れたため、2021 年 6 月の開園にスケジュールを切り替え、保育人材や園児の募集、広報等を行なってきました。保育の全体的な計画なども作成、検討していくなかで整理できた保育理念が、「まちの人と毎日をつくる保育園」です。保育方針が、「まちの人とのつながりの中で、楽しいを起点に生きる土台をつくる」。当法人がこれまでの「かこむ」運営や寺家町商店街のまちづくり事業のなかで大切にしてきた「まちの人と一緒につくる」「つながれば広がる」「楽しい」「究極の主体性」といった考えを受け継ぐ保育理念と保育方針

になりました。園のチラシ・ポスターには、「かこむ」登録団体の親子サークルのみなさんにご協力いただき、商店街で加古川の写真スタジオの方々に撮影いただいた写真を使用しました。子どもたちが、まちの人と、地域とつながり、たくさんの人に愛でられ、このまちを「わたしの大事な場所」と思えるように。まちの人たちにとっては、「かわのまちほいくえん」が「わたしの大事な場所」になることを目指して。様々なまちの人たちの関わりしるをつくっていくことが、まだ入り口にすぎないですが、少しずつできつつあります。今後、園運営がはじまった際には、子どもたちの日常にたくさんのまちの人たちによって関わってもらえるよう、まちの人と毎日をつくる具体的な取り組みを盛り込んでいきたいと考えています。

担当のつぶやき



メインスタッフ…きえさん

構想から早 2 年。ようやくスタートラインに立てるようになりました！新たなチャレンジ、新たな仲間、事業のはじめにワクワクしています。



メインスタッフ…りかささん

新たなメンバーと共に夢に向かってスタートします。よりよい園に、まちのみなさんに愛される園になれるよう、みなで力を合わせてがんばります！

シーズ機関紙「たのたね」

社会の変化や当法人の活動内容を伝えるために、
年2回機関紙を発刊しました。

- vol.21 これからのたのしい“保育”
- vol.22 これからのたのしい“居場所”



機関紙を読みたい方！
スタッフにお尋ねください。

総会

第18期通常総会の開催

出席者数：正会員総数 41 名中 30 名（うち委任状出席者 22 名）

日 時：6 月 21 日（日）10 時 30 分～12 時 00 分

場 所：法人事務所

審議事項：2019 年度（第 18 期）事業報告の件／2019 年度（第 18 期）決算報告の件
今後の事業展開について／定款変更の件／役員選任の件

報告事項：2020 年度（第 19 期）事業計画の件
2020 年度（第 19 期）予算の件

理事会

第 1 回	4 月 27 日	企業主導型保育園進捗共有
第 2 回	5 月 25 日	総会議案書の確認、企業主導型保育園進捗共有
第 3 回	5 月 27 日	非公式で企業主導型保育園事業の進捗共有（オンライン）
第 4 回	6 月 15 日	企主保事業進捗共有、サポーティングスタッフ規約、コロナウィルスによる減収への対応
第 5 回	6 月 27 日	人材組織体制の報告、各事業進捗共有、役員構成の変更承認
第 6 回	9 月 14 日	2020 年度事業受託、各事業進捗共有、「かこむ」5 期目申請の応募、就業規則改定の検討
第 7 回	10 月 26 日	「かこむ」5 期目申請内容の共有、保育園の状況共有、就業規則・給与規定改定の検討
第 8 回	11 月 30 日	「かこむ」5 期目申請内容の共有、保育園の状況共有、就業規則・給与規定改定の検討
第 9 回	1 月 5 日	加古川まちづくり舎との賃貸契約の締結、建設工事契約の締結
第 10 回	2 月 1 日	保育園事業進捗共有、各種規定の見直し検討と共有
第 11 回	3 月 10 日	保育園事業進捗共有、各種規定の見直し検討と共有

2020 年度役員

代表理事	田中 茂	柏木登起			
副代表理事	畑本康介	破魔淳司	常務理事	阪口 努	
理事	木上裕貴	佐伯亮太	春下充代	柳川詔一	猫田一城
監事	高橋 逸	和田谷幸子			
顧問	高田良彦	田代恭也	嶋谷拓雄		
	中村義弘	船本博一	堀田照夫		

2021 年 6 月 20 日 現在

2020年度講師・委員等派遣一覧

柏木登起

佐用町企画防災課	アドバイザー	佐用町久崎地域づくり協議会
公益財団法人ひょうごコミュニティ財団	委員	有園博子基金企画委員会
朝来地域自治協議会	アドバイザー	朝来市朝来地域自治協議会アドバイザー
北播磨県民局	アドバイザー	多可町アドバイザー
兵庫県丹波県民局	講師	丹波篠山市城南地区アドバイザー
兵庫県丹波県民局	委員	兵庫県地域再生大作戦選考委員
兵庫県企画県民部地域振興課	アドバイザー	地域再生アドバイザー会議アドバイザー
宍粟市	アドバイザー	宍粟市繁盛地区アドバイザー
与布土地域自治協議会	アドバイザー	朝来市与布土地域自治協議会アドバイザー
宍粟市	アドバイザー	宍粟市千種区アドバイザー
神戸市	委員	神戸市福祉調査委員
兵庫県西播磨県民局	講師	佐用町海内地域づくり協議会アドバイザー
NPO 法人プラッツ	ファシリテーター	但馬コミュニティ協創会議
朝来市	講師	地域を支援する職員研修

田中茂

(公財) 兵庫県生きがい創造協会	委員	公益財団法人兵庫県生きがい創造協会評議員会
(社福) 加古川市社会福祉協議会	委員	ボランティアセンター運営委員会
明石市コミュニティ・生涯学習課	審査員	明石市市民活動サポート事業公開審査会

柏木輝恵

いくの学園	ファシリテーター	ソーシャルシップワークショップ
こころ豊かな美しい東播磨推進会議	委員	東播磨地域づくり活動応援事業
リタワークス株式会社	講師	ソーシャルシップ STEP2 想いが伝わるブランディング

阪口努

(社福) 加古川市社会福祉協議会	講師	加古川市地域福祉計画策定委員会
(公財) 兵庫県生きがい創造協会	講師	コミュニケーション論～講義 & ワークショップ
(公財) 兵庫県生きがい創造協会	講師	NPO と地域コミュニティ

小笹雄一郎

(一社) 鹿児島天文館総合研究所 Ten-Lab	講師	共生協働の地域社会づくりの取り組みについての事例の紹介
加西市観光まちづくり協会	講師	かさいまちあそび大学「届く情報発信講座」
(社福) 神戸市社会福祉協議会	講師	今だからやってみよう！ゼロからでもわかる SNS 活用術
(社福) 神戸市社会福祉協議会	講師	指導者向け講習会
社会福祉法人 神戸市社会福祉協議会	講師	指導者向け講習会

木上裕貴・菅岩あゆ子

(株) 地域計画建築研究所	アシスト	丹波市民プラザ1周年イベント運営サポート
---------------	------	----------------------

小笹雄一郎・津久井あゆみ

兵庫教育大学	講師	社会ボランティア体験学習Ⅰ
--------	----	---------------

津久井あゆみ

稲美町教育委員会	講師	住民協働研修会「With コロナ時代における活動の進め方」
----------	----	-------------------------------

川口和也

いなみ野学園大学院	アシスト	「住民主体のまちづくり & 市民活動の実践を学ぶ」講義と演習
-----------	------	--------------------------------

活動計算書（簡易版） 2020年4月1日から2021年3月31日まで

（円）

	科 目	2020年度実績	2019年度実績	増 減
経常増減額	受取会費	282,000	288,000	-6,000
	受取寄付金	415,310	408,807	6,503
	受取助成金等	0	1,500,000	-1,500,000
	事業収益			
	（1）個人のジリツ支援	15,000	30,000	-15,000
	（2）市民のジリツ支援	37,288,000	38,977,213	-1,689,213
	（3）地域のジリツ支援	3,282,400	2,409,900	872,500
	（4）団体のジリツ支援	2,261,781	2,481,917	-220,136
	（5）全てのジリツ支援	1,707,889	3,250,750	-1,542,861
	事業収益計	44,555,070	47,149,780	-3,671,610
	その他収益計	3,186,454	160,334	3,026,120
	A 経常収益計	48,438,834	49,506,921	-1,068,087
	事業費			
	（1）人件費	31,224,009	34,217,834	-2,993,825
	（2）その他経費	12,042,954	9,414,022	2,628,932
経常外増減額	事業費計	43,266,963	43,631,856	-364,893
	管理費			
	（1）人件費	1,780,744	1,978,484	-197,740
	（2）その他経費	1,821,962	2,208,683	-386,721
	管理費計	3,602,706	4,187,167	-584,461
	B 経常費用計	46,869,669	47,819,023	-949,354
	E 当期経常増減額(A-B)	1,569,165	1,687,898	-118,733
	過年度損益修正益	1,480	800	680
	C 経常外収益計	1,480	800	680
	過年度損益修正損	3,300	0	3,300
	D 経常外費用計	3,300	0	3,300
	F 当期経常外増減額(C-D)	-1,820	800	-2,620
正味財産増減	G 税引前当期正味財産増減額(E+F)	1,567,345	1,688,698	-121,353
	H 法人税、住民税及び事業税	271,300	281,900	-10,600
	当期正味財産増減額(G-H)	1,296,045	1,406,798	-110,753
	前期繰越正味財産額	32,554,908	31,148,110	1,406,798
	次期繰越正味財産額	33,850,953	32,554,908	1,296,045

貸借対照表（簡易版） 2021年3月31日現在

（円）

（円）

	科 目	2020年度実績		科 目	2020年度実績
I 資産の部	1 流動資産		II 負債の部	1 流動負債	
	小口現金	359,292		未払金	5,564,003
	普通預金	22,057,293		未払法人税等	271,300
	定期預金	0		前受金	2,855,080
	未収金	4,958,805		預り金	227,487
	前払金	203,539		仮受金	2,511
	流動資産合計	27,578,929		流動負債合計	8,920,381
	2 固定資産			2 固定負債	
	有形固定資産	409,177		固定負債合計	0
	投資その他の資産	14,783,228	III 正味財産の部	負債合計	8,920,381
II 負債の部	固定資産合計	15,192,405		正味財産期首残高	32,554,908
	資産合計	42,771,334		当期正味財産増減額	1,296,045
				正味財産合計	33,850,953
				負債及び正味財産合計	42,771,334

大きな節目の一年を迎えるにあたり、正職員スタッフから代表まで一緒に自分たちの「ありたい姿」について対話しました。その結果辿り着いた答えは、私たちは“変化や成長をうながすプロフェッショナル”でありたいでした。先の見えない変化の激しい時代において、学び続けることが求められる世の中だからこそ、私たちは、人が集う様々な場面で「気づき」や「学び」のきっかけをつくり、個人・組織・地域の変化や成長をファシリテートしていくプロフェッショナルでありたいと考えています。2021年度の事業計画では、事業区分も見直しました。事業を縦割りで考えず俯瞰的に見て、様々な領域を行き来する市民とのネットワークをさらに広げ、ジリツの支援の幅も広げていきたいと考えています。

2021年度の重点的な取り組み

まち保育を実践する 「かわのまちほいくえん」の開園、運営

今年度は6ヶ月児～小学校就学前までを対象に19名定員でスタートし、園の2階に入るまちの皆さんのコミュニティスペース「00. かわのまちリビング」と一体で運営に取り組みます。「まちの人と毎日をつくる保育園」を保育理念に、子どもたち一人ひとりの自律に向けた成長に寄り添いながら、寺家町商店街を中心にまちの変化を起こしていく、まちづくりの拠点となる保育園の実現を目指します。

「かこむ」V期目開始、 新体制の基盤づくり

かこむ5期目のコンセプトは、「新しい自分に出会える施設」です。これまでのつながる施設をベースに、様々な人と出会いつながることで気づき、学びを経て、新しい自分へと成長していくことができる施設を、利用する皆さんと共に形にしていきます。まず1年目は、東ハリマくらし学校をリニューアルし、新しい自分に出会える学び舎として整えていきます。

情報発信の強化と 法人体制の見直し

当法人の取り組みや活動の意義を客観的に見つめ、発信することにより力を入れていくため、ホームページをリニューアルする他、スタッフ育成と会員の皆様との交流機会をかねた学びつづけられる場の企画も予定しています。また、働きがいある職場づくりを目指して、規定関係を改定し、法人の運営体制も刷新します。

1 個人のジリツを支援する人材育成事業

かわのまちほいくえん運営事業
学校への参加型プログラムの提供事業

2 市民のジリツを支援するプロデュース / ネットワーキング事業

東播磨生活創造センター「かこむ」指定管理運営
東播磨「人・まち」わくわく学び塾事業
企業等へのコーディネート事業
Kaco-style2事務局事業

3 地域のジリツを支援するコミュニティ創造事業

地域活性化事業
かわのまちリビング運営支援事業

4 団体のジリツを支援する NPO 等支援事業

ひょうご市民活動協議会事務局支援事業
NPO 等活動支援事業

5 すべてのジリツを支援する環境整備事業

講師・ファシリテーター派遣
(学校での授業実施、チームブランディング含む)

6 法人本部

シーズ塾の開催
ホームページと機関紙のリニューアル
人材育成の強化



シミズシーズ 2020 年度年次報告書

発行元／問い合わせ先

NPO法人 **シミズシーズ**

〒675-0066 兵庫県加古川市加古川町寺家町 363-4

Tel : 079-422-0402 Fax : 079-421-0407 Mail : info@npo-seeds.jp Web : www.npo-seeds.jp

活動予算書（簡易版） 2021年4月1日から2022年3月31日まで

（円）

科 目		2020年度予算	2019年度実績	2019年度予算
経常増減額	受取会費	150,000	282,000	300,000
	受取寄付金	300,000	415,310	300,000
	受取助成金等	45,596,199	0	75,000,000
	事業収益			
	(1) 個人のジリツ支援			
	学校への参加型プログラムの提供事業収益	0	15,000	0
	(2) 市民のジリツ支援			
	東播磨生活創造センター「かこむ」指定管理運営事業収益	35,265,200	35,825,225	37,001,838
	東播磨「人・まち」わくわく学び塾事業収益	1,059,000	1,059,000	1,059,000
	企業等へのコーディネート事業収益	264,000	280,500	900,000
	Kako-Style2事務局事業収益	0	123,275	0
	(3) 地域のジリツ支援			
	地域活性化事業収益	1,200,000	2,205,500	2,000,000
	かわのまちリビング運営支援事業	330,000	0	0
	北播磨地域ビジョン策定支援事業収益	0	1,076,900	0
	(4) 団体のジリツ支援			
	東播磨ため池ミュージアム事務局支援事業	0	1,734,810	0
	ひょうご市民活動協議会事務局事業収益	160,000	120,000	160,000
	NPO等活動支援事業	0	0	0
	(5) 全てのジリツ支援			
	かわのまち保育園運営事業(国庫補助金除く)	5,845,000	53,600	11,981,782
	講師・委員等派遣事業収益	1,000,000	1,654,289	500,000
	チームブランディングプログラム提供事業収益	0	406,971	350,000
	(2021年度は講師・委員等派遣事業へ)			
	事業収益計	45,123,200	44,555,070	53,952,620
	その他収益計	6,000	3,186,454	6,000
	A 経常収益計	91,325,399	48,438,834	129,558,620
経常外増減額	事業費			
	(1) 人件費	63,942,610	31,224,009	37,845,697
	(2) その他経費	32,194,721	12,042,954	96,840,804
	事業費計	96,137,331	43,266,963	134,686,502
	管理費			
	(1) 人件費	3,373,426	1,780,744	2,735,376
	(2) その他経費	2,768,760	1,821,962	1,859,000
	管理費計	6,142,186	3,602,706	4,594,376
	B 経常費用計	102,279,518	46,869,669	139,280,878
	E 当期経常増減額(A-B)	-10,954,119	1,569,165	-9,722,258
	過年度損益修正益	0	1,480	0
	特別利子補給制度	1,663,040	0	0
正味財産増減	C 経常外収益計	1,663,040	1,480	0
	支払利息	556,380	0	0
	過年度損益修正損	0	3,300	0
	D 経常外費用計	556,380	3,300	0
	F 当期経常外増減額(C-D)	1,106,660	-1,820	0
	G 税引前当期正味財産増減額(E+F)	-9,847,459	1,567,345	-9,722,258
正味財産増減	H 法人税、住民税及び事業税	80,000	271,300	80,000
	当期正味財産増減額(G-H)	-9,927,459	1,296,045	-9,802,258
	前期繰越正味財産額	33,850,953	32,554,908	32,554,908
	次期繰越正味財産額	23,923,494	33,850,953	22,752,650